

## リタイアゴルファーへのアンケート調査結果 2015

### 【調査要綱】

矢野経済研究所では、次の調査要綱にて国内のリタイアゴルファーへのアンケート調査を実施した。

1. 調査期間: 2015年6月～8月
2. 調査対象: 日本国内在住の15歳～69歳の男女 15,762名(男性 11,663名、女性 4,099名)
3. 調査方法: インターネットモニターを利用したアンケート調査

#### <リタイアゴルファーへのアンケート調査について>

2015年6月に実施した本アンケート調査は、ゴルフを続けるつもりはない「リタイアゴルファー」に対して、ゴルフを始めた目的、プレーした期間、リタイアした理由・時期、利用した施設・クラブ等を調査し、リタイアゴルファーの動向分析を行なった。

なお、過去にゴルフ経験を持つが、2015年6月に「ゴルフを続けるつもりはない」と回答した人と、「ゴルフを続ける」と回答したが、最近1年間(2014年6月～2015年5月)にゴルフ場、屋内/屋外練習場、ゴルフスクールのいずれも利用していない人を、本調査における「リタイアゴルファー」と定義した。

### 【調査結果サマリー】

#### ◆ 過去にゴルフ経験を持つ人は 45.8%

2015年6月に日本国内在住の15歳～69歳の男女 15,762人を対象として、消費者アンケート調査を実施した。「あなたはゴルフ(ゴルフ場・屋内/屋外練習場・ゴルフスクールでのゴルフ経験)をしたことがありますか」と尋ねたところ、「ある」と回答したのは 45.8%で、約半数の人がゴルフの経験を持っていた。

#### ◆ 今後もゴルフを続ける人は、ゴルフ経験を持つ人の中で 48.6%

ゴルフ経験を持つ人に対して、「あなたは今後、ゴルフ(ゴルフ場・屋内/屋外練習場・ゴルフスクールでのゴルフ経験)を続けますか」と尋ねたところ、「続ける」が 48.6%、「続けるつもりはない」が 51.4%であった。また、「ゴルフを続ける」と回答した人の中には、「最近1年間(2014年6月～2015年5月)に1度もゴルフをしていない」と回答した人が 6.8%ほど含まれる。

#### ◆ リタイアゴルファーのほぼ半数がプレー経験3年未満で離脱

「ゴルフを続けるつもりはない」、および「ゴルフを続ける」と回答したが1年以上プレーしていない「リタイアゴルファー」4,204人に対して、「ゴルフ(ゴルフ場・屋内/屋外練習場・ゴルフスクールでのゴルフ経験)をプレーした期間」を尋ねたところ、「5年以上」が 40.4%と最も多く、「1年未満」が 24.8%、「1年～2年未満」が 12.0%、「2年～3年未満」が 9.9%で続いた。また、プレーした期間が「3年未満」を合計すると 46.7%になり、「5年以上」の比率を上回った。こうした結果から、ゴルフを続けられる環境の整備が求められていると考える。

#### ◆ 資料体裁

資料名:「ビギナー・早期リタイアゴルファー実態調査 2015」  
 発刊日:2015年9月30日  
 体裁:A4判 217頁  
 定価:140,000円(税別)

#### ◆ 株式会社 矢野経済研究所

所在地:東京都中野区本町2-46-2 代表取締役社長:水越 孝  
 設立:1958年3月 年間レポート発刊:約250タイトル URL: <http://www.yano.co.jp/>

本件に関するお問合せ先(当社HPからも承っております <http://www.yano.co.jp/>)

(株)矢野経済研究所 マーケティング本部 広報チーム TEL:03-5371-6912 E-mail:[press@yano.co.jp](mailto:press@yano.co.jp)

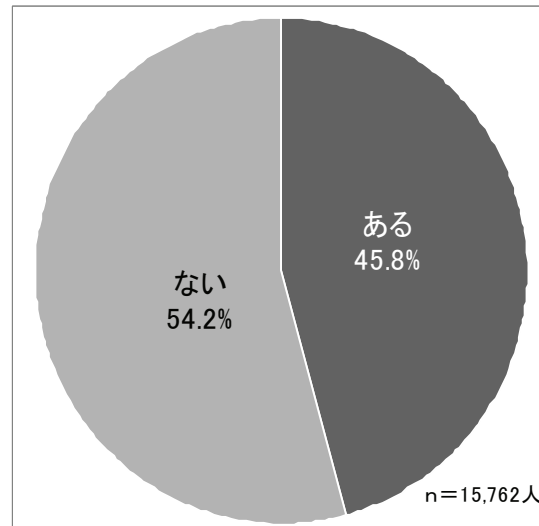
本資料における著作権やその他本資料にかかる一切の権利は、株式会社矢野経済研究所に帰属します。  
 本資料内容を転載引用等されるにあたっては、上記広報チーム迄お問合せ下さい。

## 【 調査結果の概要 】

### 1. ゴルフ経験の有無、今後もゴルフを続けるか

2015年6月に日本国内在住の15歳～69歳の男女15,762人を対象として、消費者アンケート調査を実施した。「あなたはゴルフ(ゴルフ場・屋内/屋外練習場・ゴルフスクールでのゴルフ経験)をしたことがありますか」と尋ねたところ、「ある」と回答したのは45.8%(7,223人)で、約半数の人がゴルフ経験を持っていた。

図1. ゴルフ経験の有無について



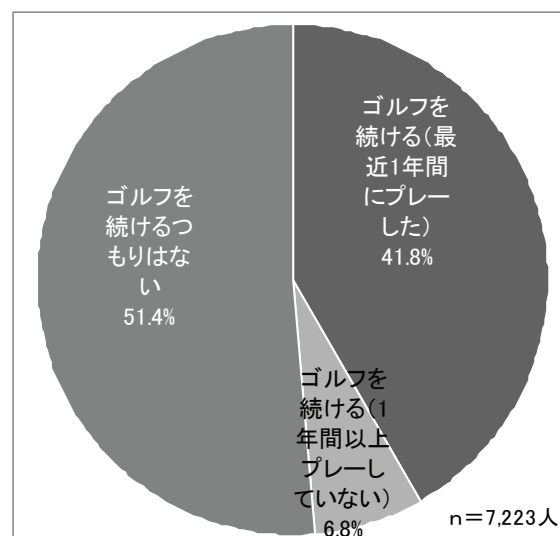
矢野経済研究所作成

注1. 調査時期;2015年6月、調査対象(集計対象);日本国内在住の15歳～69歳の男女15,762名(男性11,663名、女性4,099名)、調査方法;インターネットモニターを利用したアンケート調査、単数回答

次にゴルフ経験を持つ人に対して、「あなたは今後、ゴルフ(ゴルフ場・屋内/屋外練習場・ゴルフスクールでのゴルフ経験)を続けますか」と尋ねたところ、「続ける」が48.6%(3,510人)、「続けるつもりはない」が51.4%(3,713人)であった。

但し、「ゴルフを続ける」と回答した人の中には、「最近1年間(2014年6月～2015年5月)に1度もゴルフをしていない」と回答した人6.8%(491人)が存在しており、「続けるつもりはない」と「続ける」と回答したが1年以上プレーしていない人を合計した58.2%(4,204人)を、本調査では「リタイアゴルファー」と分類し、その傾向を分析する。

図2. 今後もゴルフを続けるか



矢野経済研究所作成

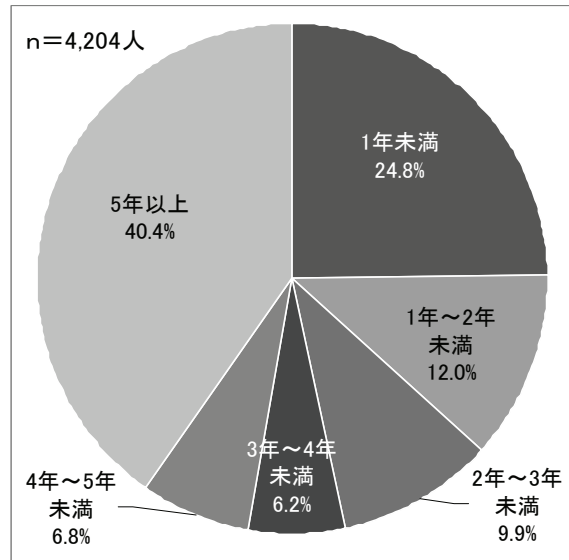
注2. 調査時期;2015年6月、調査対象(集計対象);ゴルフ(ゴルフ場・屋内/屋外練習場・ゴルフスクールでのゴルフ経験)を持つ7,223人、調査方法;インターネットモニターを利用したアンケート調査、単数回答

## 2. 「リタイアゴルファー」のプレーした期間

「ゴルフを続けるつもりがない」、および「ゴルフを続ける」と回答したが1年以上プレーしていない「リタイアゴルファー」4,204人に対して、「ゴルフ(ゴルフ場・屋内/屋外練習場・ゴルフスクールでのゴルフ経験)をプレーした期間」を尋ねたところ、「5年以上」が40.4%と最も多く、「1年未満」が24.8%、「1年～2年未満」が12.0%、「2年～3年未満」が9.9%で続いた。プレーした期間が「3年未満」を合計すると46.7%になり、「5年以上」の比率を上回った。

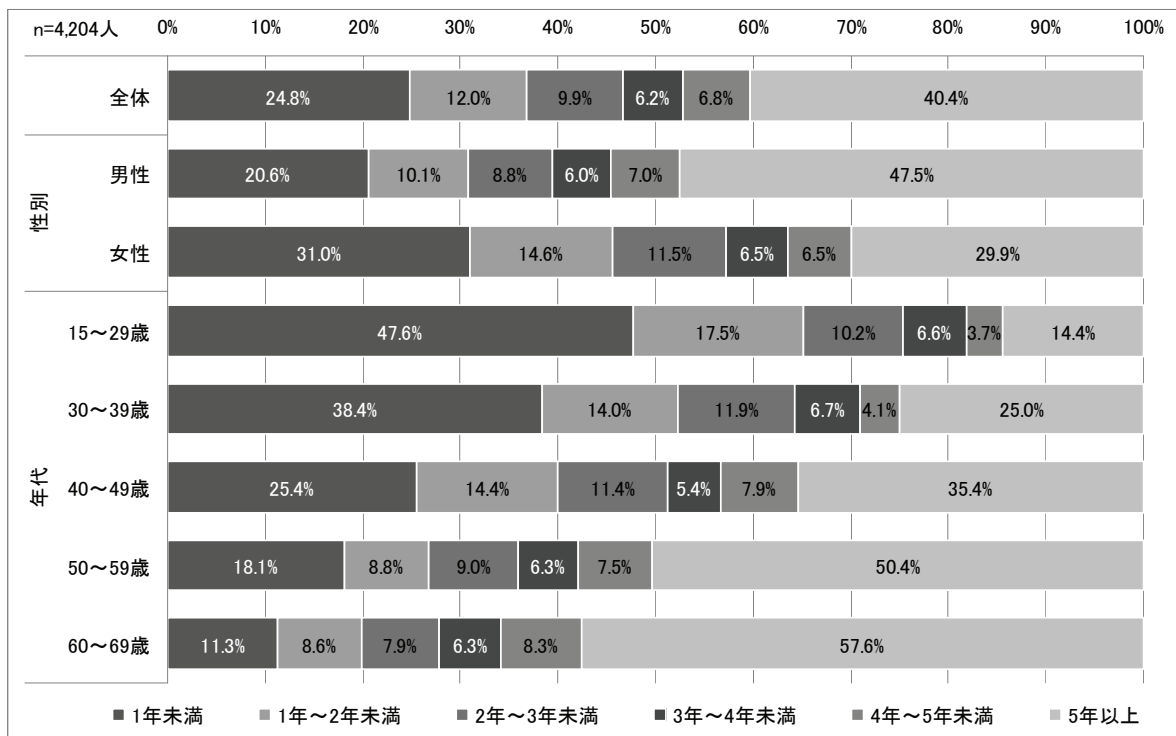
また、男女別にみると、プレーした期間が「3年未満」の合計値は男性が39.5%、女性が57.1%と女性が多い。女性はゴルフを短い期間でやめてしまう傾向がある。年代別にみると、「3年未満」の合計値は「15～29歳」が75.3%、「30～39歳」が64.3%、「40～49歳」は51.2%の回答があり、年齢が高くなるとともにプレーした期間が長くなった。若年層は他の世代より短い期間でやめる傾向があることがわかる。

図 3-1. 「リタイアゴルファー」のプレーした期間(全体)



矢野経済研究所作成

図 3-2. 「リタイアゴルファー」のプレーした期間(男女別/年代別)



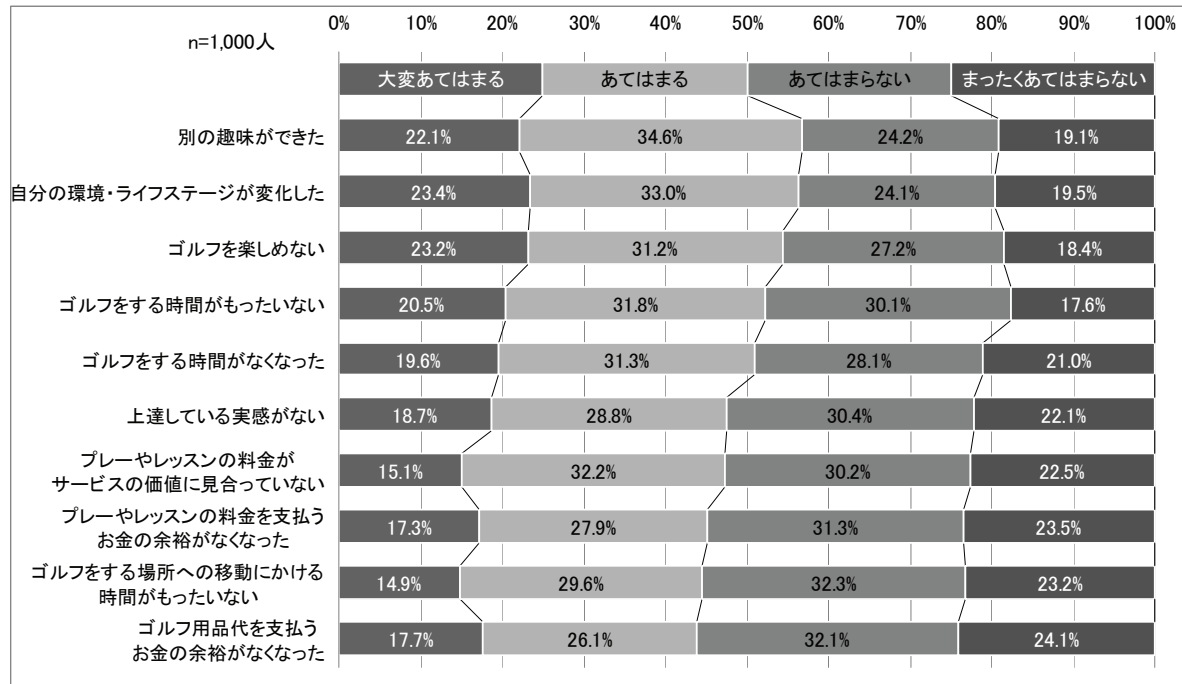
矢野経済研究所作成

注3. 調査時期;2015年6月、調査対象(集計対象);「ゴルフを続けるつもりはない」、および「続ける」と回答したが1年以上プレーしていない回答者4,204人、調査方法;インターネットモニターを利用したアンケート調査、単数回答

### 3. ゴルフ経験年数3年未満の「早期リタイアゴルファー」がゴルフを継続しない理由とは

リタイアゴルファーのうち、ゴルフをプレーした期間が3年未満の「早期リタイアゴルファー」1,000人にゴルフを継続しない理由を44の質問項目毎に選んでもらい、「大変あてはまる」と「あてはまる」の比率の合計が高い順から10項目を図4に掲載した。「別の趣味ができた」が56.7%と最も高く、次いで「自分の環境・ライフステージが変化した」、「ゴルフを楽しめない」、「ゴルフをする時間がもったいない」、「ゴルフをする時間がなくなった」、「上達している実感がない」などが続いている。

図4.「リタイアゴルファー」のゴルフを継続しない理由(上位10項目)



矢野経済研究所作成

注4. 調査時期;2015年6月、調査対象(集計対象);「ゴルフを続けるつもりはない」および「続ける」と回答したが1年以上プレーしていない、ゴルフをプレーした期間が3年未満の回答者1,000人、質問44項目のうち「大変あてはまる」と「あてはまる」の比率合計が高い順の10項目、調査方法;インターネットモニターを利用したアンケート調査、単数回答

### 4. まとめ

ビギナーゴルファーへのアンケート調査結果<sup>※</sup>で、新たに始めるスポーツとしてゴルフの人気の高いことがわかったが、本調査でもゴルフ(ゴルフ場・屋内/屋外練習場・ゴルフスクールでのゴルフ経験)をしたことがある人は全体の45.8%を占め、他のスポーツとの数値比較はしていないが、多くの人がゴルフの経験を持っていることがわかった。

一方で、ゴルフ経験者のうち、51.4%の人が「ゴルフを続けるつもりはない」と回答しており、とくにゴルフ経験3年未満でゴルフを継続しない「早期リタイアゴルファー」が多いことは問題であると考え。

「早期リタイアゴルファー」がゴルフを継続しない理由では、「別の趣味ができた」、「ゴルフを楽しめない」、「ゴルフをする時間がもったいない」など、ゴルフ以外の楽しみを優先してしまっており、この背景には「余暇時間をゴルフにあてるほどの魅力や楽しさをゴルフに感じていない」という実態があると推察する。また、女性は、環境の変化として結婚や出産・育児を挙げることが多く、女性のゴルフ継続のためには、こうした変化を越えてゴルフを続けられる環境の整備が求められる。その他には、ゴルファーの最も大きな悩みである、ゴルフの技術習得の難しさが、経験の浅いゴルファーのスキル向上をサポートする取り組み・環境を強化することで、ゴルフのプレー継続を促すことが可能になると考える。

本調査および過去のゴルフ関連の各種調査により、ゴルフ経験3年未満でゴルフを継続しない「早期リタイアゴルファー」は日本全国で約420万人になると推計する。こうした結果から、ゴルフを続けられるさまざまな環境の整備が、ゴルフ業界全体にとっての急務であると考え。

※参考資料. ビギナーゴルファーへのアンケート調査結果 2015(2015年10月8日発表)  
<http://www.yano.co.jp/press/press.php/001454>